

「時給500円からの田舎SOHO起業」～SOHOフェア2008～

今回の「福岡（まち）の元気な起業家たち」は、8月26日に福岡市「福岡国際ホール」で開催された「SOHOフェア2008」の中で、大河ドラマ『篤姫』で有名となった鹿児島県指宿市でSOHO事業を営まれ、自らを「漂い人」と称するD-Club代表の池元正美さんの起業にまつわるお話をご紹介します。

● はじめに

司会の方から『篤姫』の話が出たが、篤姫の出身地である指宿市今和泉地区の小学校のPTA会長を3年間経験し、大河ドラマが始まる前に辞めた。辞めていなければ有名になっていたかも知れないが、大事なところを抜かしてしまう私の人生を象徴している。

平成10年5月にD-Club設立。それまでは、学習塾に11年、橋梁設計事務所7年勤務。このときの月収は30万円を超えており、共稼ぎでもあったため、人生の勝ち組だと思っていた。しかし、会社都合により退職。

その後、福岡、熊本のSOHO協同組合との交流が始まり、（協）SOHOすたいるず鹿児島を設立。このほか、ドリームゲートの九州エリアリーダーも経験。

これまでの10年間を生きて来られたのは、その時その時の選択と自分をあきらめないという執念みたいなものではないだろうか。

現在は、職業訓練校の運営、パソコンサポート、雇用能力開発機構新規創業支援アドバイザー、キャリアコンサルタント、地域若者サポートステーション相談員、鹿児島県評価者育成コーディネーターなどを行っている。

地域若者サポートステーション相談業務では、ニート・フリーターのキャリア相談を行っている。相談の中で34歳の男性で履歴書を見ると「16歳高校中退以上」とこれまで一切仕事の経験がない人もいて暗い気持ちに。しかし、話を聞くと、それなりに本人はチャレンジしており、その後、3ヶ月の若者自立塾、5ヶ月の職業訓練を経て、現在は就職し一生懸命働いている。そしてその人から、勤めた最初の日にお礼の電話が入った。この経験から「チャンスがあれば土俵に上がることができる人はたくさんいる。」ことを痛感。人々に伝えることや目の前の人々の変化に立ち会うことが私の仕事ではないかと感じている。そして、1人1人の変化が社会の変化にも繋がっていくのではないかと。少なくとも地域の変化には直結するものと



起業について自らの体験を話す池元さん

考えている。

● 偶然から始まる事業の種

創業のきっかけは、会社都合による退職（なんちゃって起業家の誕生）。当初は仕事があることを信じて、自宅でパソコンで遊んでいたが、ある人の紹介で、時給500円のSOHO事業者生活がスタート。仕事の内容は、指宿市にある女性のボランティアグループが受託した博物館でのカフェ運営。これは、PTAの役員、公民館館長、衛生自治体連合会役員など地域との関わりを持っていたため話がきたもの。いわゆる有償のボランティアで、このときの時給が500円。年間5～60万円になるといわれ働くことに。このカフェでは、30代後半の男性が店番をしていると、見下す人、頑張っているねと優しく声をかけてくれる人など、いろいろな意味で人を見る目が養われた。

● SOHOスタイルで働くということ

その後、（協）SOHOすたいるず鹿児島を設立し本格的に活動を開始。業務内容は、パソコンサポートやホームページ作成など。当初パソコンサポートの時間単価を決めていなかったため、単純に1日1万円、8H労働で計算し、1,250円に設定。しかし、移動時間を考えていなかったため思ったより収入がなかったが、現在もこの単価が続いている。また、当時ホームページの作成方法を知らないため知り合いの人に頼んだり、別の依頼主か

らは、できないなら一緒につくろうとって頂いたりした。ここでも地域活動による出会いが役に立っている。

事業を行う上で、目的をどこに持っていくかも重要。「お金か、名声か、ネットワークか、自己実現か」。お金を儲けるには大手との取引が大事であるが、大手は価格に対して厳しく、場合によっては仕事に追われることになる可能性もある。私はお金よりも目の前の困っている人を助けたいと思っている。

● 仲間との出会い

現在は廃刊となっているが、雑誌「SOHOコンピューティング」の取材を受けたことが、仲間づくりに繋がった。この雑誌に指宿でパソコンサポートを行うSOHO事業者がいるという記事が掲載されたことから大反響となり、たくさんのメールや電話を頂き、会いたいという人も殺到。そこで、会える人にはすべて会うこととし、その結果、組合の主要メンバーと知り合うことができた。

当時、この仲間よく話したことは、「人生は3ヶ月で変わるよね。3ヶ月後どうなっているか楽しみだね。今は頑張っていこう。」と夢を語り合い、この仲間のお陰で将来の不安などは感じなかった。

● チャンスをつかむ

チャンスをつかむための要件は次のとおり。

- ① チャンスは想像の外にある（小さな頭で考えるな！）。

家の中にいてもチャンスは訪れない。まずは動け。私もキャリアカウンセラーの講習があったので、申し込もうと思ったら半年間に120時間講義の受講が必要と聞いて迷ったが受講したところ、はまってしまい、これがライフワークとなった。

- ② 計画された偶然を起こす。

みなさんも私の話を聞くよりも、今日たまたま隣に座った知らない人との出会いの方が今後につながるかも知れない。そのまま、名刺交換もせずに帰ったのではもったいない。出逢った意味に賭けてみる。

- ③ 偶然をつかむ準備はできているか。

どんな準備をすればよいか。私はホームページは作れなかったが、作れる人を知っていたので断らなかった。また、私は現在「リーダーシップ論」に興味を持ち勉強しており、これが次の仕事にも繋がってくる。

- ④ すべてのものは夢に繋がっている。

夢を持ち続けることは難しいため、その夢に栄養や刺激を与えないと育っていかない。

- ⑤ 取りあえずチャレンジすること。チャレンジしなければ何も始まらない。

● チャンスを広げるためには

- ① 情報は生もの。自分だけのものと黙っていても変化はない。できることは自分で言い、できないことは人に任せる。情報は有効に活かせる人にどんどん集まってくる。情報が情報を生む情報のわらしべ長者になること。

- ② 変化を恐れないこと。結局は、変化していくしか自分達を守る術はない。

- ③ 人脈がないという前にまず自分が人脈となる。

- ④ 大事なのは困ったときに思い出してもらえるか、必要な人になっているか。

● 可能性の方程式

可能性の大きさ＝移動距離×会う人の数²である。まずは行動すること。そして、できるだけ多くの人と会うこと。世界はチャンスに溢れている。

そして、絶対に夢をあきらめないこと、自分をあきらめないこと、最後まで頑張り続けること。自分の活躍を待っている人は必ずいる。

● これからの10年に向けて

指宿市のグループが開発した地元の唐船峡のわき水を使用した地サイダーの事業化を支援。これは、昨年10月にスタートし5月に発売。また、私が主宰している「起業家道場」のメンバーで「ヨモギオイル入り手づくり石けん」を開発し今月発売。

このほか、昨年12月のクリスマスイブにJR指宿駅前イブの日にスキヤキ（イブスキ）というイベントを開催したところ1,000名の参加があった。このような直接お金にはならないが、楽しんでできることにも取り組んで行きたい。

福岡SOHOサポートセンター移転のお知らせ

福岡SOHOサポートセンターは、2008年9月19日（金）、現在の中央区天神「福岡富士ビル」から福岡市西区姪浜「福岡県SOHO事業協同組合事務局内」に移転します。相談業務等は引き続き行いますので、今後ともご利用下さい。

移転先 福岡市西区姪浜駅南4-4-14 ibb will 姪浜1F 交流スペース
電話 092-894-6530
福岡県SOHO事業協同組合